

## 主要建設資材需給・価格動向調査結果

<建設資材モニター調査：平成21年4月1～5日現在>

国土交通省総合政策局建設市場整備課  
課長補佐 吉野（内線24863）  
上原（内線24854）  
(電話) 03-5253-8111【代表】  
03-5253-8283【直通】  
ホームページアドレス <http://www.mlit.go.jp>

### 1. 調査の結果

#### 【価格動向】異形棒鋼及びH形鋼は、6ヶ月連続して「やや下落」。

- ・異形棒鋼及びH形鋼は「やや下落」。セメントは「やや上昇」と「横ばい」の境界上にある。生コンクリートは「横ばい」だが、「やや上昇」に近い。
- ・異形棒鋼は「やや下落」である県が30あった。H形鋼は「下落」「やや下落」である県が30以上あった。セメントは「上昇」「やや上昇」である県が20あった。生コンクリートは「やや上昇」である県が10以上あった。
- ・前月に比べると、セメントでは「上昇」である県が1増えて、「やや上昇」である県が14増えた。生コンクリートでは「やや上昇」である県が14増えた。石油では「やや下落」である県が13減った。

#### 【需給動向】アスファルト合材（新材）は、「均衡」から「やや緩和」に変化。

アスファルト合材（再生材）は、「均衡」から「”均衡”と”やや緩和”の境界上にある」に変化。

- ・アスファルト合材（新材）は「やや緩和」。生コンクリート、骨材（砂利・碎石）、アスファルト合材（再生材）、H形鋼及び木材（製材）は「均衡」と「やや緩和」の境界上にある。セメント、骨材（砂・再生碎石）、異形棒鋼及び木材（型枠合板用）は「均衡」だが、「やや緩和」に近い。
- ・アスファルト合材（新材）及びH形鋼は「緩和」「やや緩和」である県が20以上あった。木材（製材・型枠合板用）は「緩和」「やや緩和」である県が10以上あった。生コンクリート、骨材（碎石）及びアスファルト合材（再生材）は「やや緩和」である県が20以上あった。セメント、骨材（砂・砂利・再生碎石）及び異形棒鋼は「やや緩和」である県が10以上あった。
- ・前月に比べると、木材（製材）では「緩和」である県が1増えて、「やや緩和」である県が10増えた。「やや緩和」である県がセメントで11、生コンクリートで13、骨材（砂利）で11、骨材（碎石）で12、アスファルト合材（新材）で16及びアスファルト合材（再生材）で27とそれぞれ増えた。

#### 【在庫状況】前月と比べて、在庫状況は大きく変わらなかった。

- ・全ての資材が「普通」。

## 2. 調査の概要

### <目的>

主要建設資材需給・価格動向調査（建設資材モニター調査）は、公共事業をはじめとする建設事業の円滑な推進を図るため、国土交通省が全国47都道府県における建設資材の価格、需給、在庫等の変動状況を、毎月モニターから情報を入手し、早期に把握しているものである。

### <調査対象地域及び調査対象業者>

#### 1) 調査対象地域

10地方、47都道府県

#### 2) 調査対象業者

- 各都道府県ごとに、建設資材の供給側（生産者、商社、問屋、販売店、特約店）と需要側（建設業者）から、それぞれ20社程度のモニターを選定（需要側905社、供給側921社、合計1,826社）し、調査を実施している。
- 選定は、主に都道府県庁所在地に所在する業者から行っている。

#### 3) 調査対象地域及びモニター数

地 方	実 施 都 道 府 県 名
北 海 道	北海道(23・22)
東 北	青森県(22・11)、岩手県(23・11)、宮城県(19・12)、秋田県(17・12)、山形県(23・12)、福島県(15・8)
関 東	茨城県(18・23)、栃木県(18・23)、群馬県(21・22)、埼玉県(16・25)、千葉県(21・23)、東京都(24・27)、神奈川県(17・23)、山梨県(17・23)、長野県(21・22)
北 陸	新潟県(26・26)、富山県(25・25)、石川県(26・26)
中 部	愛知県(13・17)、静岡県(13・15)、岐阜県(13・18)、三重県(12・17)
近 畿	福井県(23・19)、滋賀県(23・17)、京都府(22・24)、大阪府(24・19)、兵庫県(22・20)、奈良県(17・25)、和歌山県(20・22)
中 国	鳥取県(19・19)、島根県(20・22)、岡山県(18・18)、広島県(16・22)、山口県(20・18)
四 国	徳島県(10・15)、香川県(12・12)、愛媛県(16・15)、高知県(12・16)
九 州	福岡県(22・24)、佐賀県(18・22)、長崎県(25・16)、熊本県(18・25)、大分県(16・19)、宮崎県(24・24)、鹿児島県(31・26)
沖 縄	沖縄県(14・19)

※（ ）内の数字は、各都道府県のモニター数（需要側・供給側）

### <調査対象資材> 7資材13品目

- セメント 普通ポルトランド・バラ物
- 生コンクリート 建築用 (21N/mm<sup>2</sup>-18cm-25mm)
- 骨材 ①砂、②砂利、③碎石、④再生碎石
- アスファルト合材 ①密粒度アスコン13（新材）  
②密粒度アスコン13（再生材）
- 鋼材 ①異形棒鋼 (SD295A) D16  
②H形鋼 (200×100×5.5×8mm)
- 木材 ①杉正角・特1等 (3.0m×10.5×10.5cm)  
②型枠用合板・輸入品 (12.0×900×1,800mm)
- 石油 軽油1、2号

### <調査項目>

各調査対象資材について、以下の項目等についての調査を実施している。

- 現在及び将来(3ヶ月先)の価格動向(下落・やや下落・横ばい・やや上昇・上昇)
- 現在及び将来(3ヶ月先)の需給動向(緩和・やや緩和・均衡・ややひつ迫・ひつ迫)
- 現在の在庫状況(豊富・普通・やや品不足・品不足)

表—1

価格・需給動向及び在庫状況別 都道府県数  
<平成21年4月1~5日現在>

資材名称・規格		セメント	生コン	骨 材			アスファルト合材		異形棒鋼	H形鋼	木 材		石油	
		パラ物	2IN/mm <sup>2</sup>	砂	砂 利	碎 石	再生碎石	新 材 密粒度 アスコン	再生材 密粒度 アスコン	D16	'200 × 100	製 材	合 板	軽油 1.2号
調査月現在の価格動向	1.0~1.5 (下 落)										1			
	1.6~2.5 (やや下落)			1	(1) 1			(1) 3	(3) 2	(14) 33	(16) 30	(1) 5	(1) 4	2
	2.6~3.5 (横ばい)	(24) 27	(28) 31	(45) 45	(44) 44	(47) 47	(46) 47	(45) 44	(44) 44	(33) 14	(31) 16	(43) 39	(43) 41	(42) 43
	3.6~4.5 (やや上昇)	(23) 19	(19) 16	(2) 1	(2) 2		(1)	(1)					(1) 1	(5) 2
	4.6~5.0 (上 昇)		1											
調査月現在の需給動向	1.0~1.5 (緩 和)							1				(1) 1	(1) 2	2
	1.6~2.5 (やや緩和)	(12) 19	(18) 24	(13) 17	(17) 19	(20) 23	(16) 15	(24) 23	(20) 28	(13) 16	(15) 19	(18) 17	(10) 11	(8) 4
	2.6~3.5 (均 衡)	(35) 28	(28) 23	(33) 29	(30) 28	(27) 24	(31) 32	(22) 22	(27) 19	(34) 31	(29) 26	(24) 24	(35) 32	(39) 43
	3.6~4.5 (ややひつ迫)		(1)	(1)				(1)			(1)			
	4.6~5.0 (ひつ迫)													
調査月現在の在庫状況	1.0~1.5 (豊 富)	— —	— —	6	7	6	6	— —	— —	3	2	6	4	— —
	1.6~2.5 (普 通)	— —	— —	38	38	40	35	— —	— —	37	32	25	29	— —
	2.6~3.5 (やや品不足)	— —	— —	2	1	1	5	— —	— —				1	— —
	3.6~4.0 (品不足)	— —	— —	1				— —	— —					— —

注1) 現在の価格・需給動向のカッコ内の数字は、将来(3ヶ月先)の価格・需給動向の予想。

注2) 現在及び将来の価格動向は、1(下落)、2(やや下落)、3(横ばい)、4(やや上昇)、5(上昇)として、各モニターからの回答を平均した価格動向別都道府県数

注3) 現在及び将来の需給動向は、1(緩和)、2(やや緩和)、3(均衡)、4(ややひつ迫)、5(ひつ迫)として、各モニターからの回答を平均した需給動向別都道府県数。

注4) 現在の在庫状況は、1(豊富)、2(普通)、3(やや品不足)、4(品不足)として、各モニターからの回答を平均した在庫状況別都道府県数。













## 石油( 軽油 : 1、2号 )

地 方	都道府県	価格動向	需給動向	在庫状況
北海道	北海道	3.4	2.3	—
東 北	青森県	3.0	3.0	—
	岩手県	3.2	2.6	—
	宮城県	3.0	2.5	—
	秋田県	3.0	3.0	—
	山形県	3.2	3.0	—
	福島県	3.2	2.8	—
関 東	茨城県	2.8	3.0	—
	栃木県	3.0	2.8	—
	群馬県	3.2	2.8	—
	埼玉県	3.3	2.8	—
	千葉県	3.0	1.8	—
	東京都	3.1	2.7	—
	神奈川県	3.3	3.0	—
	山梨県	3.1	2.8	—
北 陸	長野県	3.4	2.6	—
	新潟県	3.2	2.7	—
	富山県	3.2	2.8	—
中 部	石川県	3.0	2.8	—
	岐阜県	3.1	3.1	—
	静岡県	3.0	2.8	—
	愛知県	2.4	3.0	—
近 畿	三重県	2.8	3.0	—
	福井県	2.2	2.7	—
	滋賀県	3.7	3.3	—
	京都府	3.1	2.7	—
	大阪府	3.0	2.3	—
	兵庫県	3.3	2.6	—
中 国	奈良県	2.8	2.7	—
	和歌山県	3.1	2.7	—
	鳥取県	3.1	2.9	—
	島根県	3.2	2.8	—
	岡山県	3.1	2.6	—
四 国	広島県	2.9	2.9	—
	山口県	3.3	2.8	—
	徳島県	3.0	3.0	—
	香川県	3.6	2.7	—
九 州・沖 縄	愛媛県	3.0	3.0	—
	高知県	3.2	3.0	—
	福岡県	3.2	2.8	—
	佐賀県	3.4	2.6	—
	長崎県	3.1	2.6	—
九 州・沖 縄	熊本県	3.0	2.8	—
	大分県	3.1	2.6	—
	宮崎県	3.1	2.6	—
	鹿児島県	3.4	2.7	—
	沖縄県	3.2	3.1	—

	価格動向	需給動向	在庫状況
合 計 値	146.0	130.2	—
平 均 値	3.11	2.77	—
前月平均値	2.73	2.86	—
前月比(平均値)	0.37	▲ 0.09	—

## &lt;参考&gt; 地域別動向

地 域		価格動向	需給動向	在庫状況
北海道	(1道)	3.4	2.3	—
東 北	(6県)	3.1	2.8	—
関 東	(1都8県)	3.1	2.7	—
北 陸	(3県)	3.1	2.8	—
中 部	(4県)	2.8	3.0	—
近 畿	(2府5県)	3.0	2.7	—
中 国	(5県)	3.1	2.8	—
四 国	(4県)	3.2	2.9	—
九 州・沖 縄	(8県)	3.2	2.7	—

注)上記の指数は、

- イ. 現在の価格動向を、1(下落)、2(やや下落)、3(横ばい)、4(やや上昇)、5(上昇)として、各モニターからの回答を各都道府別に集計し、その平均により算出している。
- ロ. 現在の需給動向を、1(緩和)、2(やや緩和)、3(均衡)、4(ややひつ迫)、5(ひつ迫)として、各モニターからの回答を各都道府県別に集計し、その平均により算出している。
- ハ. 現在の在庫状況を、1(豊富)、2(普通)、3(やや品不足)、4(品不足)として、各モニターからの回答を各都道府県別に集計その平均により算出している。